



2020. 3. 6. №1394  
 静岡県漁業協同組合連合会  
 ☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
 編集・発行＝指導部漁業振興課  
 URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

### 1. 令和元年度補正予算補助事業等に関する説明会を開催 — 指導部 —

本会指導部では、2月21日（金）静岡中央ビルにおいて、県下漁協及び水産関係団体の担当者等27名参加のもと、令和元年度補正予算の水産関係補助事業等に関する概要説明会を開催しました。

令和元年度補正予算（水産関係）については、昨年12月に閣議決定され国会審議を経て令和2年1月31日に成立し、令和2年度当初予算と令和元年度補正予算と合せて、水産関係予算全体で3,005億円が措置され、このうち令和元年度補正予算の水産業競争力強化緊急支援事業『水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（205億円）』（漁船リース事業）、『競争力強化型機器等導入緊急対策事業（40億円）』の2事業についても継続が決定されました。

今回の説明会では、『競争力強化型機器等導入緊急対策事業』、『漁業経営セーフティーネット構築事業』の2事業について、事業概要や申請手続き、実施スケジュール等について説明が行われました。

### 2. 第59回通常総会を開催 — 県漁協青壮年部連合会 —

県漁協青壮年部連合会は、1月31日（金）県男女共同参画センター「あざれあ」において、青壮年部員等32名が出席し、第59回通常総会を開催しました。

総会では、岩瀬清敏会長より「令和の新時代を迎え、我々青壮年部も柔軟な発想と行動力をもって、関係団体とも連携し、漁業・JF組織の発展に寄与したい」との挨拶の後、来賓として高瀬進 県水産振興課長並びに鈴木博 本会専務から夫々祝辞が述べられました。続いて、大熱海漁協青壮年部の山口修氏を議長に選任し、2019年度事業報告、2020年度事業計画、2020年度会費の徴収時期、徴収方法について審議され、提出された議案は全て原案どおり可決承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選の結果、会長に岩瀬清敏氏（賀茂支部／伊豆漁協 稲取支所）、副会長には、山口修氏（伊東支部／大熱海漁協）、小林大介氏（沼津支部／内浦漁協）を選任しました。

### 3. 一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会 — 千葉県にて開催 —

一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会では、2月5日（水）hotel&resort 南房総（千葉県南房総市）において、東京都・千葉県・神奈川県・静岡県の漁業関係者等約62名が出席（本県からは19名が参加）し、令和元年度の協議会を開催しました。

会議は、当番県の千葉県漁連 鶴岡 指導部長の挨拶に続き、資源研究センター 亘 資源経

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

済グループ長より、キンメダイ資源調査の取り纏め結果報告、水産庁資源管理部管理調整課 竹川 課長補佐より、キンメダイ資源管理に関する漁業者代表部会の内容について説明の後、協議に入り、各都県から資源管理の実践状況と水揚情報を報告、続いて、底刺し網対策・まき網対策・各地区で深刻化しているサメ・バラムツによる食害等について、活発な意見交換が行われた後、令和2年度協議会の当番県を東京都とし閉会しました。

### 4. 漁業経営セーフティーネット（燃油・配合飼料）の加入申し込みは3月末日まで

漁業者の経営安定対策の柱の一つである「漁業経営セーフティーネット構築事業」の令和2年度申込期限は、3月末日までとなります。

この事業は、燃油（配合飼料）価格の上昇に備えて漁業者・養殖業者が資金を積立し、原油価格や配合飼料価格が一定の基準を超えて上昇した場合に、漁業者・養殖業者の積立に対し国が同額を負担（燃油については、国の負担割合を段階的に高めて補填）して補填金が支払われる制度です。また、平成25年度補正予算より措置された国の各種補助事業申請時の必須要件でもあることから、可能な限り多くの漁業者の皆さんにご活用して頂けるようお願い致します。

なお、既に参加者が機器等導入事業等に参加している場合、導入した機器等の処分制限期間中はセーフティーネット事業に加入し続ける必要があります。導入後、処分制限期間中に解約した場合は、補助金相当（残存簿価により算出）を返還することになりますので注意して下さい。

### 5. 令和元年度 魚種別系群別資源評価の公表 — 水産庁 —

水産庁は、本年度の魚種別系群資源評価を発表しました。

水産庁では、水産資源の適切な保存及び管理に資するため、我が国周辺水域における主要な水産資源の状況調査を水産研究・教育機構、都道府県水産試験研究機関、一般社団法人漁業情報サービスセンターなどで構成する共同実施機関に事業委託し、その調査結果を解析して資源評価を行っています。

今回、公表された主な水産資源の資源評価は以下のとおりです。

魚種（系群）	資源評価	魚種（系群）	資源評価
マイワシ（太平洋）	中位：増加	スルメイカ（冬季発生）	低位：減少
マアジ（太平洋）	低位：減少	スルメイカ（秋季発生）	中位：減少
キンメダイ（太平洋）	低位：減少	ヤリイカ（太平洋）	高位：横ばい
ブリ	高位：減少	ウルメイワシ（太平洋）	中位：減少
トラフグ（伊勢・三河湾）	低位：減少	カタクチイワシ（太平洋）	低位：減少

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう